

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	松山歯科衛生士専門学校
設置者名	準学校法人松山ビジネスカレッジ

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療 専門課程	歯科衛生学科		3,098 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

松山歯科衛生士専門学校.pdf ([mbc1946.ac.jp](http://mbc1946.ac.jp))

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	松山歯科衛生士専門学校
設置者名	準学校法人松山ビジネスカレッジ

1. 理事（役員）名簿の公表方法

役員名簿.pdf (mbc1946.ac.jp)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人 理事・学園長	R6.5.28 ~ ~R9.5.27	経営計画の策定
非常勤	学校法人 理事 私立大学 副学長	R6.5.28 ~ ~R9.5.27	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	松山歯科衛生士専門学校
設置者名	準学校法人松山ビジネスカレッジ

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>「きびしく、やさしく、ていねいに」を教育方針に、専門分野の知識・技術の習得に加え、「実践教育」を基礎に、実務対応力強化や社会人基礎力向上に取り組むことに重点を置き、12月以降、学園共通フォーマットを使用し、「シラバス作成ガイドライン」に沿って、各科目担当者が作成し、学科長、校長他、学園関係者が承認の上、2月末までに完成させる。</p> <p>学生へは4月のオリエンテーション期間中に配布し、その際HPでも公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://mbc1946.ac.jp">歯科衛生学科.pdf (mbc1946.ac.jp)</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>成績評価規程に基づき、各科目3分の2以上出席している者について、シラバス記載の成績評価方法によって成績評価を行い、80点以上を「優」、70点以上80点未満を「良」、60点以上70点未満を「可」、60点未満を「不可」の4段階で評価する。この場合において、「優」、「良」及び「可」を合格とし、「不可」を不合格とする。合格した者には所定の単位を与える。</p> <p>なお、合格点に達していない者は再試験を受けることができ、再試験で合格した者の成績評価は「可」とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価規程 第4条4項より、各学生の学業成績の相対的な位置の把握については、履修した授業科目について、シラバスに記載している評価方法によって100点法で評価した点数の平均値によって行う。 なお、成績評価規程についてはHPにて公表する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="http://mbc1946.ac.jp">成績評価規程 (mbc1946.ac.jp)</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ディプロマポリシー (卒業の認定方針) に基づき、以下のような能力を身に付け、且つ所定の課程を修了した学生は卒業を認定し、専門士の称号を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間のカリキュラムを通し、歯科衛生士として必要な基本的知識・技術を修得するとともに、社会に貢献できる実践的能力を身につけること。</li> <li>・患者さんに寄り添い、臨機応変に対応できる柔軟性、コミュニケーション能力を身につけること。</li> </ul> <p>なお、卒業の認定については、所定の課程が修了し、成績評価が完了した後、学内の教務委員会の議を経て校長が行う。</p> <p>また、ディプロマポリシーについてはHPにて公表する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="http://mbc1946.ac.jp">歯科衛生 (mbc1946.ac.jp)</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	松山歯科衛生士専門学校
設置者名	準学校法人松山ビジネスカレッジ

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	貸借対照表等.pdf (mbc1946.ac.jp)
収支計算書又は損益計算書	収支計算書.pdf (mbc1946.ac.jp)
財産目録	財産目録.pdf (mbc1946.ac.jp)
事業報告書	事業報告書.pdf (mbc1946.ac.jp)
監事による監査報告（書）	監事監査報告書.pdf (mbc1946.ac.jp)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
医療		医療専門課程	歯科衛生学科		○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼	3,158時間	1,613 時間		1,545 時間	
			3,158時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生 数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人		124人	人	4人	42人	46人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

12月以降、学園共通フォーマットを使用し、「シラバス作成ガイドライン」に沿って、各科目担当者が作成し、学科長、校長他、学園関係者が承認の上、2月末までに完成させる。

学生へは4月のオリエンテーション期間中に配布し、その際HPでも公表する。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価規程に基づき、各科目3分の2以上出席している者について、シラバス記載の成績評価方法によって成績評価を行い、80点以上を「優」、70点以上80点未満を「良」、60点以上70点未満を「可」、60点未満を「不可」の4段階で評価する。この場合において、「優」、「良」及び「可」を合格とし、「不可」を不合格とする。合格した者には所定の単位を与える。

なお、合格点に達していない者は再試験を受けることができ、再試験で合格した者の成績評価は「可」とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）

ディプロマポリシー（卒業の認定方針）に基づき、以下のような能力を身に付け、且つ所定の課程を修了した学生は卒業を認定し、専門士の称号を授与する。

・3年間のカリキュラムを通し、歯科衛生士として必要な基本的知識・技術を修得するとともに、社会に貢献できる実践的能力を身につけること。  
 ・患者さんに寄り添い、臨機応変に対応できる柔軟性、コミュニケーション能力を身につけること。  
 なお、卒業の認定については、所定の課程が修了し、成績評価が完了した後、学内の教務委員会の議を経て校長が行う。  
 また、ディプロマポリシーについてはHPにて公表する。

学修支援等

(概要)

各学年担任制を導入し、学習内容や生活面等相談しやすい環境作りを行い、学生生活を総合的にサポートする。  
 また希望者には、放課後や長期休暇中等に補習を実施する等、国家試験合格に向けてサポート体制を整えている。  
 国家試験不合格者については、卒業後も国家試験対策講義と定期的な模擬試験等を実施している。  
 就職活動については、校内にある就職課の専任のスタッフとキャリアコンサルタント(常勤)が個別支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
39人 (100%)	0人 (0%)	38人 (97%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等)

歯科診療所

(就職指導内容)

主体的に職業生活を送れるようキャリア形成の必要性を理解し、社会人基礎力を修得するための就職オリエンテーションを実施する。また、就職活動における一連の活動(マナー、履歴書の書き方、面接指導等)についてもフォローする。

(主な学修成果(資格・検定等))

歯科衛生士国家資格、介護職員初任者研修、医療事務技能審査試験 歯科

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
124人	5人	4.0%

(中途退学の主な理由)

学生生活不適應、体調不良、就職、死亡

(中退防止・中退者支援のための取組)

担任による面談を実施し、継続して個別指導を行う。  
 改善が見られない場合は、保護者に連絡し、校長を含めた面談を実施し、具体的な目標設定を行い、改善に導いている。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科衛生学科	160,000 円	600,000 円	250,000 円	施設設備費、教育充実費
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援制度 (納入金一部免除) : 兄弟姉妹、保護者が学園グループ校の在籍者若しくは卒業生</li> <li>・再入学支援制度 (入学金免除) : 入学者本人が学園グループ校の卒業生または卒業見込み者</li> <li>・一人暮らし支援制度 : 条件に該当する学生について家賃補助</li> <li>・学費分納制度 : 条件に該当する学生について学費等の毎月分納を許可</li> </ul>				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 令和5年度 自己評価報告書 (松山歯科衛生士専門学校) .pdf ( <a href="http://mbc1946.ac.jp">mbc1946.ac.jp</a> )		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 在校生保護者、関連企業、地域住民、卒業生等の学校関係者により評価委員会を構成し、学校の自己評価結果報告 (教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集、財務、法令遵守、社会貢献・地域貢献の10項目) 及び授業・施設見学によって評価を実施する。学校関係者評価で出された意見、提案については、学内で共有、協議し、教育活動や学校運営の改善等に活用する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
会社員 (地域金融機関 地域事業振興部)	1年	企業等委員
団体役員	1年	企業等委員
主婦	1年	在校生保護者
会社員	1年	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) Microsoft Word・学校関係者評価委員会報告書【松山歯科衛生士専門学校】公表用.doc ( <a href="http://mbc1946.ac.jp">mbc1946.ac.jp</a> )		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 松山歯科衛生士専門学校   愛媛県松山市で歯科衛生士の国家資格・就職を目指す ( <a href="http://mbc1946.ac.jp">mbc1946.ac.jp</a> )
--